

■ モモエの小さな幸せ

～ もうすぐバレンタイン ～

暖冬ですね。雪が少ないとは言え、1月の能登地震で被災地の寒さが心配になります。1日も早い復興を願うばかりです。

さて、2月は節分。娘に豆を投げつけられそうな鬼ママ・高橋百栄です。

毎年、娘はバレンタインのチョコレートを配ります。

も：「自分が面倒みてもらっていると思う人にあげよう。誰？」

娘：「パパ、ちーちゃん（祖母）、ジジ、ばあちゃん（曾祖母）、よしおさん（祖父）、けいちゃん

（祖母）、…」と数えると、なんと16人！うち60代8人、80代2人、計10人（62.5%）

超高齢化社会（笑）育児放棄の賜物か、彼女の成長を支える高齢者が10人います☆感謝感謝！！

娘にはしてもらって、与えられることが当たり前ではなく、愛情、目をかけてもらえることを幸せに感じ、感謝しながら育ててもらいたいと思っています。バレンタインを通して、「**日常の小さな幸せセンサー**」が育てばいいなあと思っています。このセンサーがあれば、どんなに大変な状況でも今に幸せを感じて乗り越えられるし、精神疾患も縁遠くなると医学的根拠もなく思っています！

なぜ幸せセンサーを育てたいかという、精神疾患の休職の相談で事情を聴くと、「人のせい」「自分ばかり」と**自分が恵まれていることに視点が当たらない**と感じることが多いからです。私から見ると、休日は出かけ、仕事では目をかけ気かけられ恵まれているように見えます。病気のせいかもしれませんが、幸せセンサーが作動していません。もったいないと感じるからです。

鬼ママの私が彼女に与えられる福は配るためのチョコレートくらいでしょうか。

座布団と幸せ運ぶ山田隆夫なみに**幸せを運ぶモモエ**になりたい！



■ ROKEN セミナー報告

— 5Sの実践報告（前編） —

昨年10月にROKEN基礎研修を実施した明星保育園様より

5Sの実践報告会にご招待いただきました。

各グループで決めた取り組み場所の体育倉庫、園内の絵画、保育用品、画用紙置き場、パソコン置き場の5か所を全員で巡りながら各グループに

発表をしていただきました。体育倉庫は整理整頓後にマットの取り出し時間を**2分→10秒**に短縮、写真表示や女性でも移動しやすい配置の工夫がありました。園内の絵画は季節ごとに分け、箱に番号と写真表示、リストを作り把握しやすいようにしました。保育用品は、不要なものを捨て、保管場所を1か所にまとめ、ラベル表示をしていました。さらに、若い職員さんは見慣れない道具を見つけ副園長に聞いたというエピソードがありました。また、使えなくなった短いクレヨン、レンジで溶かしてシリコン型で固めたマールクレヨンとして復活していました！



子供たちも喜ぶねとみんなで拍手しました。今回の報告会で感じたのは「職員の業務効率化目的の5S」で職員が主に使う場所を整理整頓しているはずが、その奥に「**子供たちの存在（愛）**」があることでした。子供が危なくないように、子供に様々な絵を見せたい、不思議な色が出るクレヨン…。それぞれの想いが形になった5Sでした。

ある先生がレインボー掲載を想定してか、**カメラ目線**をくださいました。来月号をお楽しみに！



■ ROKEN 提供システムズ

— 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

■ ROKEN アウトソース・センター

- ・電子申請システム（義務化近し）
- ・給与計算（明細書電子配信）
- ・出退勤指紋（カード）認証システム

■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・適性検査、コンピテンシー面接・評価

■ ROKENワークス・アカデミー

- ・人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



